

様式第1号(第5条関係)

会議概要

会議の名称	令和6年度第1回久喜市生涯学習推進会議
開催年月日	令和6年9月30日(月)
開始・終了時刻	午後1時15分から 午後3時15分
開催場所	鷲宮行政センター5階 生涯学習施設「まなびすと教室」
議長氏名	影山悦夫
出席委員(者)氏名	磯野由紀子、井上日出子、折原憲司、影山悦夫、桐谷光男、小林博俊、佐藤敏江、島田智恵子、高橋久江、布施昌美、細川敦子、間野英治、諸橋美津子、山川美智子、山崎敏子、横須賀隆
欠席委員(者)氏名	桐原宏、後藤悦子、坂本仁志、山田直子
説明者の職氏名	野間口研道生涯学習課主幹、鈴木亮生涯学習課係長
事務局職員職氏名	小林幸司生涯学習課長、野間口研道生涯学習課主幹、鈴木亮生涯学習課係長、藤本健司生涯学習課主任、三谷円華生涯学習課主事
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 議長・副議長の選出について (2) 久喜市生涯学習推進会議について (3) 令和5年度生涯学習関係事業報告について (4) 第12回久喜市生涯学習研修大会「まなびすとフォーラム」の報告について (5) 第13回久喜市生涯学習推進大会「まなびすと久喜」について 3 その他 4 閉会
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・久喜市生涯学習推進会議委員名簿 ・資料1 久喜市生涯学習推進会議条例 他規則 ・資料2 久喜市生涯学習推進会議について ・資料3 令和5年度生涯学習関係事業報告書 ・資料4 第12回久喜市生涯学習研修大会「まなびすとフォーラム」報告書 ・資料5 第13回久喜市生涯学習推進大会「まなびすと久喜」実施概要
会議の公開又は非公開	公開
傍聴人数	0人

様式第2号（第5条関係）

審 議 会 等 会 議 録

発 言 者 ・ 会 議 の て ん 末 ・ 概 要

司会（三谷）

皆様こんにちは。

ただいまから、久喜市生涯学習推進会議委員委嘱式及び令和6年度第1回久喜市生涯学習推進会議を開催いたします。私は本日の司会を務めます生涯学習課の三谷と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

本日はお忙しい中、ご出席をいただきまして誠にありがとうございます。それでは、次第に従いまして、久喜市生涯学習推進会議委員委嘱式を開式いたします。

生涯学習推進会議委員の委嘱につきましては、久喜市生涯学習推進会議条例第3条に基づき委嘱いたします。委嘱書については、本来、市長からお一人おひとりに手交させていただくところではございますが、時間の都合上、代表1名の方にお渡しさせていただきます。代表として、磯野由紀子委員、お願いいたします。

<梅田市長から磯野委員に委嘱書を交付>

司会（三谷）

ありがとうございました。代表の方以外の委員の皆様の委嘱書については、事前に机上に配布しておりますので、ご確認ください。それでは皆様、2年間どうぞよろしく申し上げます。

続きまして、梅田市長からあいさつを申し上げます。

梅田市長

皆様、改めましてこんにちは。久喜市長の梅田修一です。本日はお忙しい中、久喜市生涯学習推進会議委員委嘱式及び令和6年度第1回久喜市生涯学習推進会議にご出席をいただきまし

て、大変ありがとうございます。ただいま20名の皆様に、久喜市生涯学習推進会議委員を委嘱させていただきました。任期である令和8年8月31日までの2年間、本市の生涯学習の推進にご尽力くださいますよう、どうぞよろしく願いいたします。

さて、本市では、令和5年度に策定しました「久喜市生涯学習推進計画 まなびすとプラン2」に基づき、生涯学習・社会教育の推進に取り組んでいるところであります。そして、本計画を着実に遂行していくため、この会議において、計画の進行管理をしているところであります。

本計画を始動して2年目となりました令和6年度においても、皆様のお力添えをいただきながら、生涯学習の推進に努めてまいりたいと考えています。

また、来年2月には、本市の生涯学習の目玉事業の1つである、まなびすと久喜も控えております。前回以上に盛り上がりを見せられるように、皆様のご協力をどうぞよろしく願いいたします。

結びに、委員の皆様方のご健勝とご活躍を心から願ひまして、あいさつといたします。どうぞよろしく願いいたします。

司会（三谷）

ありがとうございました。

続きまして、次第の4番、自己紹介でございます。本日は委員の改選後、初めての会議となりますので、皆様に自己紹介をお願いしたいと存じます。委員名簿も併せてご覧いただければ幸いです。それでは、マイクをお持ちいたしますので、名簿の一番、磯野委員からお願いいたします。

<委員自己紹介>

司会（三谷）

皆様ありがとうございました。続いて、事務局の自己紹介をさせていただきます。

<事務局自己紹介>

司会（三谷）

ありがとうございました。これもちまして、久喜市生涯学習推進会議委員委嘱式を閉式いたします。梅田市長におきましては、この後の公務のため、ここで退席させていただきます。

<梅田市長退席>

司会（三谷）

それでは、引き続き令和6年度第1回久喜市生涯学習推進会議を開会いたします。ただいまの出席者は16名でございます。この人数は、久喜市生涯学習推進会議条例第5条第2項の規定に基づきまして、委員の過半数の出席になりますので、当会議が成立することをご報告いたします。なお、本日は、桐原委員、後藤委員、坂本委員、そして山田委員から欠席する旨の連絡をいただいております。

続きまして、会議に移る前に2点、皆様にご了承いただきたいことがございます。

1点目、会議の進め方についてでございます。久喜市審議会等の会議の公開に関する条例に基づき、会議は原則公開とさせていただきます。公開の会議につきましては、傍聴の希望者がいれば認めることとしております。なお、本日の傍聴者は今のところおりません。

2点目、会議録の作成についてでございます。会議録は、概ね1ヶ月以内に公文書館閲覧室への配架及び市ホームページで公開することとしております。会議録作成のため、録音させていただきます。音声を拾いやすいように、発言の際にはマイクを使用させていただきますようご協力をお願いいたします。発言はマイクが到着するまでお待ちください。

なお、当会議では、会議録の確認及び署名を議長にお願いし、会議録を公開しておりますのでご了承願います。

それでは、本日の資料を確認させていただきます。

本日の会議資料は、次第、久喜市生涯学習推進会議委員名簿、そして右上に資料1と書いております「久喜市生涯学習推進会議条例他規則」、資料2「久喜市生涯学習推進会議について」、資料3「令和5年度生涯学習関係事業報告書」、資料4「第12回久喜市生涯学習研修大会 まなびすとフォーラム報告書」、最後に資料5「第13回久喜市生涯学習推進大会 ま

なびすと久喜 実施概要」の以上7点でございます。

また、新たに委員となった方々には、久喜市生涯学習推進計画 久喜市まなびすとプラン2という冊子を配布しております。

もしお手元がない方がいらっしゃいましたら、事務局まで申し出ていただきたいと存じます。

<資料確認>

よろしいでしょうか。ご確認ありがとうございます。

それでは、議事に入りたいと思います。

議事進行につきましては、議長が行うこととなっておりますが、委員の改選ということで、現在、議長・副議長が不在でございます。このため、議長・副議長が選出されるまでの間、小林課長に仮議長をお願いしたいと思います。それでは課長お願いいたします。

仮議長（小林課長）

それでは、議長・副議長が選出されるまでの間、大変不慣れではございますが、私が仮議長を務めさせていただきますので、皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。

議事の（1）議長・副議長の選出についてでございます。

議長及び副議長の選出は、久喜市生涯学習推進会議条例第4条第2項の規定により、委員の互選により選出するものとなっております。まずは議長の選出でございますが、委員の皆様からご推薦がございましたらお願いいたします。

井上委員

はい。

仮議長（小林課長）

はい、井上委員。

井上委員

はい、前回まで副議長をされていましたが影山悦夫さんを推薦いたします。

仮議長（小林課長）

はい、ありがとうございます。ただいま、井上委員から議長に影山委員とのご推薦をいただきました。他にございませんか。

それではお諮りいたします。議長に影山委員というご推薦、皆様いかがでしょうか。

<異議なしの拍手>

仮議長（小林課長）

はい、ありがとうございます。異議なしと認め、影山委員が議長に選任されました。

続きまして、副議長の選出でございますが、委員の皆様からご推薦がございましたらお願いいたします。

山川委員

はい。

仮議長（小林課長）

はい、山川委員。

山川委員

長いことやっぺらっぺら井上日出子さんを推薦したいと思います。お願いします。

仮議長（小林課長）

はい、ありがとうございます。ただいま、山川委員から副議長に井上委員さんとのご推薦をいただきました。他にございませんか。

それではお諮りいたします。副議長に井上委員とのご推薦、皆様いかがでしょうか。

<異議なしの拍手>

仮議長（小林課長）

ありがとうございます。異議なしと認め、井上委員が副議長に選任されました。

それでは、議長を影山委員、副議長を井上委員にお願いするということに決定をさせていただきます。皆様のご協力により、議長・副議長をスムーズに決定することができました。

以上をもちまして、私に与えられましたすべての任が終了しましたので、仮議長の任を解かせていただきたいと思います。皆様のご協力どうもありがとうございました。

司会（三谷）

ありがとうございました。

それでは、ここで新たに選出されました議長並びに副議長から、就任のごあいさつをいただきたいと存じます。影山議長お願いいたします。

影山議長

改めましてこんにちは。議長という大役を仰せられたわけですがけれども、議長というのをやったのは今から50年ぐらい前の高校時代の生徒会の議長で、大変緊張しています。前の宮内議長さんがすごく優秀な方で、私は一応、副議長という名前ではありましたけれども、もうおんぶにだっどころか、小枝の先っぽにぶら下がっているくらいで、ちょっと風が吹いたらもう落ちそうな感じの副議長でした。

今回、ご推薦の中に副議長だったからというお言葉がありましたが、先ほど申しましたように、小さな枝葉の先っぽにちょっとぶら下がっているようなものだったものですから、果たして、皆さんの前に出て議事をうまく進行できるかどうか自信がありませんが、副議長さんも含めて、皆様のご協力とご支援でぜひ2年間、議長というものを務めさせていただきたいと思っております。もう一度改めて、皆様のご協力とご支援のほどをよろしくお願いいたします。

司会（三谷）

ありがとうございました。井上副議長お願いいたします。

井上副議長

はい、皆様こんにちは。ただいま副議長というお話だったのですが、全然わからない中、8年間お世話になり、皆さんのすばらしいご意見を拝聴しながらここまで来た次第でございます。先ほど影山議長さんの滑舌、歯切れの良いお話の中で、この議長さんの後ろについていくのは楽だなと思いました。どうぞ皆さんよろしくお願いいたします。

司会（三谷）

ありがとうございました。

ここからの議事進行は、久喜市生涯学習推進会議条例第5条第1項の規定により、影山議長にお願いしたいと思います。それでは影山議長は前の席へお願いいたします。

影山議長

ぜひ皆様のご協力とご支援をいただき、会議がスムーズにいけばいいかなと思います。

本当に頼りない議長ですが、よろしくお願いしたいと思います。

それでは、ただいまより始めさせていただきたいと思います。議事の（2）久喜市生涯学習推進会議についてでございます。事務局より説明をお願いいたします。

鈴木係長

はい、生涯学習課の鈴木と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

私から議事の2番、久喜市生涯学習推進会議について、説明をさせていただきたいと存じます。それでは着座にて失礼いたします。

それでは、本日お配りしております資料の1番と2番、こちらをお手元に準備いただきましてご覧いただければと存じます。

まず初めに資料の1番は、久喜市生涯学習推進会議の条例、規則、そして関係する例規にな

っております。わざわざ1つ1つの文章は見ませんが、こういったものがあるのだな、こういった条例規則に基づいてこの組織がなされているのだなということをご認識いただければと思います。

それでは続きまして、資料の2番をご覧くださいと存じます。生涯学習推進会議についてということで、主旨、組織図などについてお話させていただければと存じます。

まず一番、主旨、組織図について、「生涯学習推進会議」や「生涯学習推進部」という名称が似ていてややこしい部分がありますが、推進会議と推進部という組織がございます。

今回、皆様に委嘱させていただいたのが久喜市生涯学習推進会議になります。こちらの資料ですと、上の一番太枠の中、久喜市生涯学習推進会議ということで、主な所掌事項が2つございます。

1つ目が、生涯学習の推進のための提言に関すること。

そして2つ目が、生涯学習の推進に関する基本的な指針の策定に関すること。

こちらの2点が、生涯学習推進会議の所掌事項になりますので、本市の生涯学習を推進していくために、どのようなことを今後進めたらいいのか、皆様にいろいろご提言等をいただければと考えております。

続きまして、「生涯学習推進部」というものが、今出てきましたので、そちらについても少し触れさせていただければと思います。生涯学習推進会議委員の中には、生涯学習推進部の委員の方も多くいらっしゃいます。こちらの図にあるように、生涯学習推進会議から下に矢印が出ておりまして、計画の実行という文字が書かれているかと思います。生涯学習推進部の所掌事項を説明させていただきますと、まず1つ目、市民が参加できる体験型の生涯学習推進事業の実施に関すること、2つ目は、生涯学習を推進するために必要な調査及び研究に関すること、そして最後の3つ目が、生涯学習に関する研修に参加すること、こちらの3つが生涯学習推進部の所掌事項になります。

わかりにくい部分があるかと思っておりますので、かみ砕いて説明をしますと、生涯学習推進会議で、本市の生涯学習についての基本的な指針の実現に向けて、市民の意見や要望などを取り入れ、今後、市民の手による生涯学習の推進を行うためにどうしたらいいかというものをご検討いただきまして、それを実際に実行していただくのが生涯学習推進部の方たち、そのような関

係性になっております。

続きまして、2番の委員の委嘱でございます。

まず(1)、委員の任期は2年になっておりまして、今回は、令和6年9月1日から令和8年8月31日までの2年間を予定しております。

こちらの構成になりますが、(2)としまして、公募による市民と学識経験者から20人以上で組織し、市長が委嘱することとなっております。学識経験者につきましては、幅広い様々な委員会や組織の方からご推薦等をいただいて委嘱させていただいております。後は、公募による市民の方についても数名委嘱させていただいております。

続きまして3番、生涯学習推進会議幹事会についてです。ここで、また新しい組織が出てきましたけれども、生涯学習推進会議には幹事会というものがございます。こちらの幹事会は(1)にありますように、生涯学習推進会議でどのような議案を検討するのかを決定するため、会議開催の前に幹事会を開催させていただいております。幹事会の委員につきましては、こちら(2)の表のとおりになっておりまして、市職員と生涯学習推進部の方から委員3名、井上委員と山川委員、山崎委員の3名の方に幹事会の委員としてご出席いただいております。

続きまして4番、第2次久喜市生涯学習推進計画 久喜市まなびすとプラン2についてでございます。

本市では、令和5年度から令和9年度までの5年間の計画を、第2次久喜市生涯学習推進計画 久喜市まなびすとプラン2として策定しております。こちらは令和4年3月に、市民を対象に生涯学習に関する意識調査を行いまして、本市における生涯学習についての課題をアンケートで洗い出しまして、その結果に基づいて計画を作成しております。

こちらの計画を基に、本市の生涯学習を推進していくわけですが、計画の進捗状況がどうなっているか、この方向性でいいのかなどを皆様に審議、検討いただければと考えております。

そして5番、計画の進行管理についてです。生涯学習推進計画は、久喜市の生涯学習を推進する上で、様々な行政の事業を計画として定めております。

よって、様々な事業の進捗状況等をPDCAサイクルに則り、生涯学習推進会議にて、その都度管理させていただくものとしております。

簡単にではございますが、生涯学習推進会議についての説明を終わらせていただきます。

影山議長

議事の（２）について事務局の説明がございました。

少し雑音が入って聞きにくいところもあったかと思いますが、何かご質問やご意見がありましたらお願いいたします。

横須賀委員

はい。

影山議長

はい、横須賀さんお願いいたします。

横須賀委員

初めてで少しわからないので教えて欲しいのですが、この会議で何をやるかということは何となくわかったのですが、事業を推進していくということは、事業を実際に行わなければならないと、そのためには予算を取って行動していかなければならない、きっと市議会か何かに諮るのかなという感じがするのですが、この会議で出た提言をまとめていき、まとめた結果がどのように実現されてというのをもう少し詳しく説明してもらえると大変嬉しいです。

影山議長

はい、ではお願いできますか。

鈴木係長

はい、生涯学習推進会議では、ここ数年提言というような形でまとめたものはない状況でございます。

この後、生涯学習関係事業の報告ということで、生涯学習推進計画に載せている各担当課の

事業の計画やその実施状況があるのですが、こちらの実施状況について皆様からご意見等をいただき、その内容を各担当課にフィードバックしまして、その結果を翌年度以降の事業計画等に生かしていただくような形で、会議を考えているところでございます。

影山議長

よろしいでしょうか。

横須賀委員

何となく理解したのですが、こういう理解でいいでしょうか。

事前に事務局で作ってもらった資料を基に、この推進会議でわからないところをはっきりさせて、その結果を自分のところの事業として市の各課が持ってかえり予算取りをしていくという形で進めていくのでしょうか。

鈴木係長

はい。

横須賀委員

わかりました。ありがとうございます。

影山議長

よろしいですか。他にいかがでしょうか。

具体的にはこの後出てくると思いますので、次にいってよろしいですか。

続きまして、議事の（3）令和5年度生涯学習関係事業報告についてでございます。事務局よりご説明をお願いいたします。

鈴木係長

引き続き、議事の3番、令和5年度生涯学習関係事業報告について、説明をさせていただきます

ます。着座にて失礼いたします。

それでは、お配りしております資料の3番をご覧くださいと存じます。こちらは分厚い資料になるのですが、令和5年度生涯学習関係事業報告書でございます。

本市の生涯学習を推進するために、関係各課が所管する事業について、基本目標や施策ごとにまとめたものがこちらの一覧でございます。

1ページ目を参考に見ていただきますと、左上に基本目標とそれぞれの施策を記載しておりまして、下に移っていただくと、具体的施策とその施策に関連する担当課の事業を掲載しております。その隣に各事業の内容、その隣に令和6年度の関係課、そしてこちらは参考になってしまうのですが、令和5年度の関係課等ということで記載しております。令和5年度から6年度にかけて、久喜市では組織機構改革がございまして、課の名称等が変わった部分が多かったので、令和5年度と6年度の関係課を両方載せさせていただいております。

その次に、令和5年度の成果ということで、各担当課における実施状況とその成果を記載しておりまして、最後に、令和5年度の成果を踏まえた今後の課題等を記載させていただいております。

こちらにつきましては、事前に委員の皆様へ資料をお配りさせていただいておりますが、質問事項等については特になかったところでございます。こちらの事業報告につきまして、改めて何かございましたら伺わせていただければと思いますので、よろしく申し上げます。

影山議長

はい、こちらは非常に量が多くて、1日では見きれなかったので何回かに分けて見ました。

なかなか難しい部分もあるのかなと思うのですが、再度、報告の期限が過ぎた後ですが、ご覧になっていただいて何かご質問とかお考えがございましたら、ぜひこの場でお願いしたいと思うのですがいかがでしょうか。ちょっとお時間をとらせてもらっても大丈夫ですか。

鈴木係長

はい。

影山議長

では少ししかないですが、ご覧になっていただいて、再度確認をお願いしたいと思います。

桐谷委員

はい。

影山議長

はい、では少し待っていただけますか。すみません。

< 1分ほど待機 >

影山議長

はい、ではまだお時間が足りない方もいらっしゃるかもしれませんが、挙手がありましたので、お願いしたいと思います。桐谷さんお願いします。

桐谷委員

すみません、質問しようと思っていたのですが、期日指定があったことは忘れていまして、メールしようかと思ったらもう過ぎておりましたので遠慮しました。申し訳ありません、機会をいただいてありがとうございます。

先ほど自己紹介で申し上げましたが、高齢者大学と市民大学を出たばかりなので、直近で一番感じていることを申し上げますと、非常に高齢者並びに市民にとっては有効な施策だと思います。その両方の大学をもっともっと市民に広げる必要があるのだろうなと実感をしています。

一番大きいのは、やはり高齢者が学び直しをすること、そして一緒に同じ大学で仲間としてコミュニケーションを図り、クラブ活動やボランティア活動を通じて、市民の横の連携ができることだと思います。近所にその仲間がいるという状況ができました。

あまり良い言葉ではありませんが、最近、高齢者とりわけ男性の定年退職後、ひきこもりがあるのではないかと思います。女性の皆さんは、外へ出て、日常的にいろいろPTAだとかも

含めて会話する機会が多いのですが、男性の場合はそれがなく、自宅への引きこもりがあるのではないかと思います。以前は中高生のひきこもりが問題でしたが、今は高齢者のひきこもりが問題ではないかと言われているのですが、そのようなことを考えると、この2つの市民大学・高齢者大学はともに有効な施策だと思っております。

しかし、市民のアンケートの結果が残っていますが、認知度は半分程度だということです。私は2年続けて、200件ほど、高齢者大学・市民大学のチラシをポストに投函しました。そして、声をかける方にいろいろ話をして、市民大学・高齢者大学は楽しいですよと、ぜひぜひ時間が取れるようでしたら入ってくださいという声掛けもしました。

高齢者大学だと4年間もありますので、4年間を同じような趣味で繋がり合っていますから、かなり深い関係になれます。その後、卒業した後も校友会組織で、最近は全員が校友会に入っていくということで、クラブ活動とかいろいろなスポーツイベントだとかをやっておられます。近年、入学される方が極端に少ないと思います。高齢者大学は今年増えましたね。それまでは40人です。今年は60人になりました。しかし残念ながら市民大学は10名です。ずっと10名が続いています。

そういう面では、入学の勧誘方法をもっと考えないといけないのかなと思っています。

特効薬は私ありませんが、事務局として学生数を増やす取組みについて何かお考えがあったら、もうそれで決まっているわけではないにしても、ご意見をいただきたいと思います。

影山議長

ありがとうございました。今、桐谷さんがおっしゃった人数の確保というのは、市民大学や高齢者大学に限らず、他の諸団体でも難しいという現状ではないかと思うのですが、今ご質問にありました具体的な方策というのは何かあるのかというご質問、いかがでしょうか。

鈴木係長

はい、ご質問ありがとうございます。

高齢者大学と市民大学の入学者数の状況は、桐谷委員さんのおっしゃるとおり、入学者を増やすということが、我われ生涯学習課の大きな課題ということで認識しております。

といたしますのも、平成22年度は新入生で170人ぐらい入学した時期もございました。その後、平成28年度から30年度あたりで大体50人から60人ぐらいで推移してきました、令和3年になりますと、コロナの関係もあるかと思いますが、入学者が36人まで一時期落ち込んだ状況でございます。

その後、コロナ禍を経まして、令和6年度の高齢者大学につきましては、64名の方にご入学をいただいたところでございます。令和5年度の49人に比べますと15人の増ということで、非常に数が増えてきている部分があるのですが、やはり過去の平成20年代前半に比べますと、まだ少ない状況でございます。

令和6年度の学生募集について、広報紙で市民大学と高齢者大学の特集を組みましたので、そちらで皆様にご覧いただいて、認知がある程度広がったのかなという部分がございます。

ただ、情報を伝える手段は様々あるかと思えます。SNSや広報、そして桐谷委員にもご協力いただいているチラシのポスティング、また、市民大学と高齢者大学のOB組織でそれぞれ校友会があるのですが、両大学の周知について、校友会の方々にご協力をいただいているところです。まだ高齢者の方ですと、SNSを使われる方もいますが、広報紙などの紙媒体の方が情報を伝える力が強いのかなと考えます。

また、人からの口コミといたしますか、その人の経験に基づくもの、市民大学と高齢者大学に関する卒業生のご意見というものは重要だと思います。新たに入学を考えている方にとって、各大学がどういったことをやっているのかというのは、わかりにくい部分がありますので、不安な部分もあるかと思えます。

そういった部分について、校友会の方たちにポスティング等をしていただいて、実際にその方はもうすでに何年間か両大学を経験して、良い部分をよくわかっていただいていると思えますので、経験者の方からいろいろ紹介していただく、そういったことで新たな入学生の不安を解消して、結果的には入学生も増やしていけるのではないかと考えております。

後は、現状まだできてはいないのですが、今後、各大学を入学する前に、入学説明会のようなものを開き、興味を持っていただいている方の不安を取り除き、そして入学につなげるということもできるかと思えます。まだ検討段階ではありますが、そういった部分も含めて、両大学の周知、そして、学生数の増に努めていきたいと考えております。以上です。

影山議長

いかがでしょうか。

桐谷委員

取り組みいただいている中身について、了承しております。

それで1つ気になったのは、先ほど事前説明会という話がありましたけれども、そういう催しは絶対必要だと思います。私の同期入学は50人でした。卒業した時は40人を欠けております。極端な例ですと、入学式当日から3名ほどいなくなり、第1回目の授業を受けたその次からは、もう5、6名いなくなるということなのですよ。聞いてみると、毎年同じような状況が続いているのです。

ですから、実際大学に入って、大変だと思われる方もいるかもしれませんが、高齢者大学だと、朝から大声を発生して歌の練習、あるいは民謡の練習からスタートします。単なる勉強だけではなくて、ストレッチも含めていろいろ幅広いことをしますから、見ていただいたら十分その良さを分かっていただけるのであろうと思います。それに4年間いた人はもう離れませんね。4年終わったからもうやめましょうではなくて、よりつき合いが深くなるという、生涯学習に向かっても完全に大きなプラス効果を持っているものだと思います。今後ともぜひ力を入れていただきたいなと思います。

影山議長

ありがとうございました。議長で口を挟むのは大変申し訳ないですけれども、私もある団体に所属しておりまして、定員が今50人なのですが、一気に20人台まで落ち込んでしまったのですね。

その原因の1つは、やはり高齢化というのがあり、私の所属するところは体を動かすところがメインなので、なかなか動けないという面でお辞めになっていった方がおりました。

ところが、4月から募集の方法をいろいろ変えてみたのですが、効果的だったのが先ほど鈴木係長からお話のありました「ロコミ」でした。まだ半年間ぐらいしか経っていないのですが、5人ほど入っていただきまして、今30人を少し超えたぐらいになりました。

意外とロコミというものは、人情みたいなものがあっていいのかなと思います。広報紙で募集しようという話もありましたが、いろいろ聞いてみると、意外と広報紙を読んでいない方がいらっしゃるみたいな話もありましたので、私の経験から言うと、ロコミが今一番いいかなと思います。途中でやはりお辞めになった方もいらっしゃいましたが、お辞めになった方の原因は、家庭の都合というのがありました。入る条件として、30代から40代の人もいらっしゃるので、まず家庭を大事にすることを皆さんにお話ししてみたところ、それがかえってよかったみたいで、何かやらなければならないというマストになってしまうと、非常に重く感じるみたいなのが聞かれました。少し余計なお話をさせていただきましたが、大変失礼しました。

他に何かご質問はございますか。

山川委員

はい。

影山議長

山川さんお願いします。

山川委員

膨大な資料の中で23ページの一番下、133番、このことについて伺いたいと思います。

影山議長

133番ですか。

山川委員

はいそうです。生涯学習推進会議の充実に関してです。

影山議長

23ページ、133番の生涯学習推進会議の充実という項目ですね。

山川委員

質問に入りたいと思います。

令和5年度は10月3日、第2回会議を3月14日に実施しましたと書いてありまして、限られた会議回数で円滑に情報の共有化を図る必要がありますということで括ってありますが、この推進会議は、このたび私は初めての参加なのですが、年間スケジュールとして年に2回しかないということでしょうか。

そして、私どもこの推進会議に入っている20人のメンバーは、いつもこのような膨大な資料を2度ほど見てそれを学ぶということが推進会議のここにいる人たちの役割ということなのではないでしょうか、まずこれが1点。そして私が一番知りたいのは、資料2で生涯学習の推進のために提言すること、提言に関することと書いてありますが、たった2回ぐらいの会議で何を提言すればいいのと思ってしまったのが私の考えです。会議はやはり大事だと思います。年に2回しか開かれない会議に、これほどのいろいろな学識経験者の方がいらして、発言することがなく、ただ資料を渡されて参加して終わり、というのは非常にもったいないというか、物足りないのではないかなと思いましたので発言させていただきました。以上です。

影山議長

2点ほどご質問がありましたが、お答えよろしいでしょうか。

鈴木係長

はい、ご質問ありがとうございます。

まず、生涯学習推進会議の会議数につきまして、こちらにありますように年2回から3回を予定しております。また、提言の関係になりますが、こちらの生涯学習推進計画に記載している関係事業の報告と各委員からの意見の聴取等、そちらを踏まえまして、生涯学習の推進のための提言ということで考えさせていただいております。

山川委員

年に2回から3回ということで、おおよその会議日程とかがわかっているようであれば、なるべくこういう時にお知らせいただけたら予定を組み立てられやすいのかなと思いますので、ひとこと言わせていただきました。

影山議長

早めにお知らせいただければということですね。

山川委員

開催される時期がわからなくて、2ヶ月ぐらい前に大体いつ頃というものが来ますけれど、予定として何月頃とか、そういうアナウンスがあったら、なおよろしいかなと思ひましてお話しいたしました。

影山議長

わかりました。いかがでしょうかね、その対応は可能ですか。

鈴木係長

はい、大まかな予定ということであれば、基本的には第1回の会議を9月もしくは10月、第2回の会議を2月ないし3月に行います。ただ、会場の予約の関係とかもありますので、現時点では3月のいつ、というのが難しいですが、時期ですと第2回は例年2月ないし3月に予定しております。

影山議長

そうしますと、年間2回というのが基本なのでしょうかね。

鈴木係長

はい。

影山議長

とのことだそうです。他にいかがでしょうか。

布施委員

はい。

影山議長

布施委員お願いします。

布施委員

はい、布施でございます。私自身も生涯学習課で、こちらの仕事をさせていただいたので、内情がよくわかっているところですが、生涯学習推進計画は、すごく幅広くいろいろな事業が行われているというのを改めて感じました。

毎回、各課の報告を取りまとめて集計していただき、これをまた委員の皆さんに配布をして確認していただき、質問事項等となると、かなりの労力が必要になってくるのかなと思うのですが、例えば、それぞれの事業の成果と課題が上がっていますが、何をもって成果なのか、例えば数値目標であるとか、何かそういう視点がないと「やりました」で終わってしまうのかなと思います。

これだけ膨大な量ですので、この2年間はこういうところに視点をあてて確認したらどうだろうかというものを決めたらどうかと思ったので、発言させていただきました。

影山議長

はい、ありがとうございます。それは提案ということですね。これに関してはどうでしょうか。生涯学習課で受け入れるのか、それとも我われがどうするのかどっちにあたるのでしょうか。

布施委員

はい、すみません。やはりまとめるのは本当大変ですよ。各課がなかなか期限内に返してくれなかったり、大変な面もありますがどうでしょうか。

生涯学習課として、今年度来年度の2年間については、こういう視点で生涯学習が推進されているのか、されていないのか、もう少し絞って確認していくような会議は駄目でしょうか。

影山議長

はい、確かに視点を設ければ話し合いはすごく深まるし、スムーズな面もあるかなと思いますが、年2回の会議の中で視点をいつ決めるのかということです。例えば今日、視点を決めてそれについて会議を進めていこうとなると、結果的には次年度に文字化されてしまうのかなと思います。次回の会議だとなかなか難しい面があるかなと思います。ただそれがもし可能ならば、生涯学習課の方で視点を決めていただき、それを我われの方に早めに伝えていただければ、その時点でこの資料をもとに話し合いの道筋ができるのかなと思います。

難しいところだと思いますが、今何か皆さんの方でこういうのはどうだろうかというご意見はありますか。

間野委員

はい。

影山議長

お願いいたします。

間野委員

間野です。

今、初めてこの組織や会議の運営などの全体がわかってきましたけれども、これだけ膨大な資料があり、計画も多岐に渡っているのです。たった2回か3回の会議で焦点を定めるというのもなかなか難しいのではないかと思います。

影山議長

そうですね、ありがとうございます。鈴木係長お願いいたします。

鈴木係長

布施委員、ご意見ありがとうございました。

私どもとしましては、こちらの生涯学習関係事業の報告で、計画の進捗の管理、確認、そういった部分を兼ねているところがございます。

今回、様々な学識経験を有する委員の皆様にご委嘱をさせていただいているところでございます。ですので、焦点を狭めてしまいますと、その方たちからの意見が出にくくなってしまわないかという部分もございますので、事務局としましては、全体的にこちらの生涯関係事業報告を見ていくという形で進めていければと考えているところでございます。

布施委員

すみません、よろしいでしょうか。

影山議長

はい。

布施委員

ありがとうございます。そうですね、推進計画があるので進捗がどうなのかという確認が必要かなと思います。ただ折原委員、社会教育委員でも同じようなことをしていませんでしたか。

折原委員

はい、折原でございます。キラーパスありがとうございます。社会教育委員会議というところでも全く同じ資料が事前に配布され、質問をいつまでにメールでお願いしますという形で行われています。

また、当日気づいた点があればというところで、繰り返し評価検証するような会議をしてお

ります。社会教育委員会では、各社会教育団体の経験豊かな方々が、私を含め20名で意見を述べたりしています。私もこの会議に参加して、去年も重複するところが多いと感じておりました。ただ、これからになるのでしょうかけれども、久喜市のメイン施策である「まなびすとフォーラム」や「まなびすと久喜」、そちらの方へと関係していると思っています。第12～13回まで開催されている中で、手順の確認をする必要があると思いますが、その手順を確認するための共有が当然必要になってくると思います。

ベテランの方はよくご理解されていらっしゃる中で、初めて参加する方を置いてけぼりにするのはではなく、歩調を合わせて同じ方向性で進んでいくことが重要だと思います。

そういった大きな事業を成し遂げるという目的があるのが、こちらの生涯学習推進会議であると思っています。

どんな組織でも同じだと思いますが、行政やいろいろな組織は必ず緩みます。そういった中で、社会教育委員が当事者意識を持ちながら身を正していくというような会議の取組み方が、社会教育委員会であるというすみ分けだと思っています。

影山議長

ありがとうございます。井上委員、お願いします。

井上副議長

今年で8年目になりますと先ほど自己紹介の時にも申しましたが、以前参加している時はここまでの膨大な事業ではなかったですね。そういう中で私が関係しているところだと、資料17ページの103、104番を目にいただけますでしょうか。

生涯学習推進部というのは、市民が参加できる体験型の生涯学習推進事業を実施することとしています。これが生涯学習推進大会といまして、今回、皆様に募集でボランティアに入っていたかと思っております。第13回まなびすと久喜というものです。それと103番では、生涯学習研修大会というものが6月にあります。これがまなびすとフォーラムというものです。内容は読んで字のごとく、成果も課題もここに書いてあるとおりのことです。これに限らず、他の事業も全部それに携わった方たちが感じた成果と課題がこの資料になって

いると私は思っております。ですので、これを分割してみるというのは関係ないと思います。膨大であっても、それぞれの担当されている方たちが真剣に取り組んで、成果、それから課題を出しているものなのです。一生懸命それぞれに携わっている人間としてやっているということも踏まえていただけたらありがたいなと感じます。よろしくお願いします。

影山議長

布施委員から始まって井上委員までお言葉をいただきましたけれども、基本的にこの会議をどう進めていくかということでしょうかね。

これは私の意見ですけれども、我われの役割というのは、市の様々な部署がこのようなことを実施してこのような結果になった、これが成果でこれが課題だということがあるかと思いますが、その成果や課題に対して、違った視点で考えることが必要なのではないかと思います。例えば、ここはこういうことをやった方がいいのではないかという提案が我われの1つの使命なのかなと思っています。

ここにいらっしゃる委員の方は、市の部署と全く関係のない人たちがほとんどだと思います。そういう意味では、また違った視点で、それぞれの市の行政にいろいろなご意見を出すことができるのかなと思います。布施委員も3年ぐらいですか、生涯学習課にいてこういうご苦労をなさっていたかと思いますが、中に入ってしまうと周りが見えなくなってくることもあるのかもしれない。だから、外から見ることによって、我われのこういうことをした方がいいのではないかという提言があれば、それを生涯学習課が伝えてくれるのかなと思います。それが私たちの1つの役割なのかなと今まで考えてきましたが、皆さんどうお考えでしょうか。もう1回少なくともこの会議があるので、その時にそういうご意見があればいいのかなと思います。

話が横にずれてしまっているのはわかっていますが、皆さんこの会議のあり方についてどうお考えになりますか。確かに膨大ですが、成果や課題を見て会議を終わらせていいのか、それとも、ある意味、素人としての我われの考え方を提案できたらいいのかという点に関して皆さんいかがでしょうか。

横須賀委員

はい。

影山議長

横須賀委員お願いします。

横須賀委員

こうして欲しいということではないですが、私も企業で教育をやっていたものですからその立場から言いますと、まずは教育に関する企画をします。それに対してこういうことをやりました、結果はこうでした、この教育はまだまだ続けましょう、この教育はあまり必要がないということを取捨選択をしていく、こういうことが新しく必要だということによって少しずつ中身を変えていっているのです。なぜかというと、やはり教育には費用がかかるからです。会社ですから利益を上げなければなりません。その中の利益の一部を使って教育をしています。社員がスキルを上げて、会社に貢献して会社が利益を出すという循環のためだからです。

それと比較してみますと、久喜市民から集めた税金を使って、その税金から予算を取って、この事業にはいくら使うのかということをやっているかと思います。ですので、この報告書の中に例えば、出席人数がどんどん減って課題ですと書かれているものに対して、そういうものをどうしようかという検討をするのも1つの課題になるのかなと思いました。

影山議長

はい井上委員、お願いします。

井上副議長

この事業に関わっていると見えてくるものがすごくあります。例えば、私がこの前の推進会議の幹事会の時に質問させていただいたのですが、はつらつ体操に関わっており、年々ちょっと手抜きしているところが見えるので、その辺をしっかりと見届けて欲しいということを申しました。そうしましたら今日、高齢者福祉課に行った時に、意見をいろいろありがとうございます

ましたということを言われました。早速、生涯学習課から連絡をしていただけたようで、課長とその担当の方と私で相談をしましょうという話になり進展がありました。だからそれぞれが携わっているところできるだけ目を通すというのがまず第一歩なのでないのかなと思います。以上です。

影山議長

はい、桐谷委員お願いいたします。

桐谷委員

この会議は、担当の事務局側から考えれば、通過させなければいけない段階なのですよね。要はこの部分を委員の皆さんに見ていただいて、経過を了承してもらったというお墨付きをもらわなければ事務は進まないですよね、それがお役所の仕事ですよね。

年2回、経過について了承を得て、結論付けるという段階を踏まざるを得ないということは、形式だからそれはやらないといけないと思います。

ですが、せっかく集まっておられる皆さんのいろいろな知恵を提起するのでしたら、まずは生涯学習課が、この1年はこのようなことをやりたいと思っていますが皆さんいかがですか、ということをお示しいただいて、1つ、或いは2つのテーマで掘り下げて議論するというようなことをぜひ考えていただきたいと思います。

まなびすとプラン2は生涯学習課が取りまとめているのですが、事業自体はそれぞれの部署がやっています。ここで出された意見を、関係する部署に生涯学習課がフィードバックするのでしようから、1つ2つの新たな問題提起をすること、それが大事だと思います。

先ほど言いましたように、基本的にはここで経過を確認しなければいけないという作業があることは、正直皆さん納得するしかないのだろうと思いますがどうでしょうか。

影山議長

お墨付きが必要なのですか。

鈴木係長

はい、ご意見ありがとうございます。お墨付が必要ということではないのですが、計画の進捗管理を皆様にご認識いただいて、それについて何かご意見等があれば頂戴し、それを翌年度以降の計画に生かしていくということです。

影山議長

後、もう1つ、生涯学習課から何か提案をしていただけたらというご質問があったかと思えます。今疑問に思ったのは、生涯学習課というのは市の部署の取りまとめ役ですよね。資料を取りまとめてそれを我われに出してくださっているということなので、生涯学習課として何か1つ提案するという事は可能なのでしょうか。

桐谷委員

生涯学習課はあくまで事務局ですので、提起できるのは生涯学習課の事業しか新たには出せないと思います。ただ、他のセクションで、こんなものを我われ委員に聞いてもらいたいというのがあれば、窓口となって確認をしていただくことができるのではないのでしょうか。あるいは、そういう事例を集めていただいて、その担当者1人2人くらいに来ていただき、状況を説明して我われに意見を求めるという場面があってもいいと思います。ただ、事務局である生涯学習課はかなりの施策を抱えていますから、まずは生涯学習課の施策を考えるのも手だと思います。後、これだけ膨大なので、これをこの短時間でやろうなんて無理なので、事務局と委員の間の意見交換のピストンの場を作ってください。質問事項はいついつまでというのではなく、このことで気がついたけれども事務局の皆さんはどう考えておられますかという委員と事務局のやりとりができれば、会議2回でもその間の期間でお互いにやりとりしていくことが可能なので、少し委員の皆さんの貢献度が高くなり、関わり合いがもっと深くなると思います。

影山議長

今2つあったかと思えます。いわゆる生涯学習課も含めた他の部署の何かこうして欲しいというようなご意見があったら、それを取りまとめて欲しいというのが1点でしょうかね。

もう1点は、いろいろご質問とか提案とかを期限を切らないで、いつでもコミュニケーションがとれるような方策はないだろうかというようなご意見だったと思いますが、その2点についていかがでしょうか。

鈴木係長

はい、1点目につきましては、今後どういった実施方法ができるのか、検討させていただきたいと思います。

2点目につきましては、今回こちらの報告書を皆様にお送りさせていただいて、事前に質問期限を設けさせていただいたのは、市の行政組織のほぼ全般にわたる事業ですので、会議の場でご質問をいただいても、我われ生涯学習課で回答ができないこともございます。そういったものにつきまして、事前に委員の皆様からご質問をいただければ、この会議までに担当課の方に適宜確認などをさせていただいて、会議の場で適切な回答をさせていただくということで、期限を区切らせていただきました。ですので、そちらについてはご理解いただければと思います。

影山議長

質問期間を設けるということは今理解をしましたけれども、もう1つの提案であった、いつでもコミュニケーションが取れるというのは可能なのでしょうか。

鈴木係長

はい、それについては適宜ご連絡をいただいて構いません。今回期限を設けさせていただいたのは、あくまでこの会議までに何かご質問をいただいた時に回答をするためでございます。例えばこの会議後、お帰りになって資料を再度見た時に思うことがあるかと思えます。そちらにつきましては、ぜひ事務局にご連絡いただければ、お話を聞かせていただいて生涯学習課で解決が可能なのか、それとも担当課と連携しないと難しいのか、そういった部分がいろいろあると思いますので、適宜対応させていただければと考えております。

影山議長

ちなみに就業時間は何時から何時までですか。

鈴木係長

基本的には、平日8時半から17時15分までです。後は、市のホームページに生涯学習課の代表メールアドレスがございますので、24時間いつでも受け付け可能でございます。土日はこちらから返信できない可能性が高いですが、受付は24時間可能ですのでご意見いただければと思います。

影山議長

17時15分まで、もしくはホームページでお願いいたします。他にいかがでしょうか。
島田委員お願いします。

島田委員

すみません、私も初めてなので、理解がなかなかできなかったのですが、この報告書は各課がいろいろな事業をやって、その報告と課題を表にしたものだと思います。ですから、それを私たち委員は目を通して、感じたことや考えたことを審議して了承する場でいいような気がします。配られた資料を事前に目を通しなさいってということは、この資料に対しての意見を出して欲しいということだと思います。だからその意見に対して話し合われればいいのではないかと思います。

個々のものについては各課でいろいろやって、もうすでに終わっているものですから、皆さんから出た意見をここで審議すればいいのではないかと思います。個々の中身をどうするか、という審議をする場所ではないような気がします。いかがでしょうか。

影山議長

というご意見が出ましたけれども、皆さんどうお考えでしょうか。
小林委員お願いします。

小林委員

この報告書に書かれている事業は、各担当の方がやっているものだと思います。例えば、まなびすとフォーラムでいうと、いろいろ良い点や悪い点があるかと思いますが、それはこの課でないとわからないですよ。そういうものがわかった上で質問をするのとは違い、ただここに書かれている内容だけで、良いかの判断をするのはできないと思います。だから、事前に質問してくれと言っても、ここに書かれていることだけを見て質問をするのであって、それ以上の深いことはわからないと思います。具体的に挙げてもらわないとわからないですよ。各課が生涯学習課に報告したこの内容について、委員さんから何かご意見がありましたらお願いしますというスタンスでよろしいですか。それとも、もっと深いところまで議論した方がいいのでしょうか。例えば、さっき出た市民大学の人数が減っているという課題について、実際にどうしたらいいのかということは市民大学の事務局でないとわからないわけですよ。それを深く議論していくことではないですよ。もしそこまでするのであれば、もっと情報が必要だと思います。

影山議長

布施委員、お願いします。

布施委員

はい、すみません。私の言葉から皆さんにいろいろ議論していただきましてありがとうございます。やはり、推進計画の進捗状況を確認するということは私たちの大切な仕事であるので、この資料を見て質問事項を挙げていただいて、それに対してどうですかという議論はありなのかなと思います。

後は、この膨大な事業の中で、それぞれの委員さんが関わっているところが実際どうなのかということを見ていけばまずいいのかなと思います。後は、やはりこの会議に参加するにあたって、自分事で取り組まないと生涯学習が推進されないのではないかと思います。ですので、やはりここにいらっしゃる委員の皆さんが、まなびすとフォーラムやまなびすと久喜に対してどう関わるのかというところを議論すればいいのではないかと思います。推進部の方たちが一

生懸命やっつけてくださっていますが、それを傍観しているだけではなくて、私たちがどのように関わってそこに入って行くのかということがやはり重要なことで、それがゆくゆくは久喜市の生涯学習の推進に繋がるのではないかと考えられるので、そのような会議運営をしていただければありがたいなと思いました。すみません。

影山議長

大変申し訳ないですが、小林委員、もう一度ご質問を具体的にまとめていただいてもよろしいですか。

小林委員

この報告書に書かれている内容はこのままでいいと思います。ただ、実際にはいろいろな問題が隠れていると思います。それがわからないと、ここに書かれている内容以上の質問はできないという意見です。だから、この推進会議というのはどういう意見を求めているのかというところが明確にわからないので、生涯学習課の方で推進会議の求めている方向性というものをもう少し明確にしてもらえるといいかなと思います。

影山議長

ありがとうございます。この会議の意義ということだと思いますが、何かご意見ありますか。

野間口主幹

生涯学習課の野間口です。ご質問ありがとうございます。もう少し詳しく書いて欲しいということでしょうか。先ほど鈴木の方から申しましたが、生涯学習課だけではなく他の課も関わっているので、委員の皆さんがこの報告書を見て、わからない点があれば適宜聞くということでも私はいいいのだと思います。基本的にこの会議は何かということは初めての委員さんだと特に思われていると思いますが、このまなびすとプラン2の進行管理ということをお願いいたします。小林委員もおっしゃってくれましたが、皆様にいろいろな意見をいただくことで、生涯学習の発展と推進に繋がっていくものだと信じております。お答えになったでしょうか。

影山議長

小林委員よろしいですか。

小林委員

はい、ありがとうございます。

影山議長

ありがとうございました。では、折原委員お願いします。

折原委員

はい、この事業報告について、自分が関連しているところを特に確認し、見直していくということが役割の1つであると把握したところで、34ページの187番、補助金を交付しましたというところであります。私は小学校で5年、中学校で2年、市PTA連合会でも2年会長さをさせていただいて、北陽高校のPTA会長もしました。そのような中で、関連しているところで、令和5年度時点での間違いを正してもらいたいと思います。

予算組みでは、久喜市PTA連合会補助金として30万円を組んでいましたが、令和5年度の決算では、30万円を返納いたしました。この30万円は執行されていませんので、確認をして削除いただきたいなと思います。私の関係しているところについて、気がついた点を遅ればせながら申し上げました。以上でございます。

横須賀委員

質問いいですか。何をやめたのでしょうか。

折原委員

PTAはやめていません。市から30万円の補助金の予算組みが例年ありました。ですが、令和5年度のスタート時に久喜市PTA連合会は、日本PTA全国協議会、埼玉PTA連合会、そして埼葛地区PTA連絡協議会から脱会をしました。年に1回のメイン事業として講演

会もやっていたのですが、そういうものもやめて負担を減らしていこうという流れになりました。なので、補助金の30万円をいただかなくても1年間連合会が運営できました。

講演会の代わりに、教育委員会の各課の方、そして市長や教育長を呼んでグループディスカッションをしました。内容は、各学校の課題点を事前に提出しておき、それについて答えてもらうというものです。PTA会員の声は必ず届きますというような事業に切り換えてやりましたので、お金がかかりませんでした。補助金の交付は受けていないというところで決算しました。以上です。

影山議長

よろしいですか。

横須賀委員

消せばよろしいですか。

鈴木係長

はい、すみません。よろしいでしょうか。

折原委員、ご指摘ありがとうございます。資料の訂正をここでさせていただければと思います。先ほど折原委員からご指摘いただきました、資料の34ページの187番、「社会教育関係団体、スポーツ・レクリエーション団体への支援」というのがございまして、こちらの令和5年度の成果の箇所でございます。スポーツ振興課と生涯学習課が担当になっておりまして、生涯学習課が担当する団体のうち、上から5個目の久喜市PTA連合会に対して30万円と記載しておりますが、申し訳ございません、概算払いということで30万円は交付をさせていただきましたが、精算の際、実績なしということで0円、つまり30万から0円になりましたので、訂正させてください。また、1つ上の久喜市子ども会育成連合会、こちらも概算払いで50万円支給しましたが、最終的には40万円に変わりました。お詫びして訂正させていただきます。

影山議長

では、訂正が2つありましたのでよろしくお願いします。

他にいかがでしょうか。なければ次の議題に進みたいと思いますがよろしいでしょうか。

(異議なし)

影山議長

では議題(4)の第12回久喜市生涯学習研修大会「まなびすとフォーラム」の報告についてお願いします。これは井上委員でよろしいですか。

井上副議長

はい、生涯学習推進部委員長も仰せつかっている井上と申します。よろしくお願いいたします。まなびすとフォーラムについて報告させていただきます。6月8日にまなびすとフォーラムを開催いたしました。こちらの施設で行いましたが、80数名の方たちに参加していただきました。ワークショップ型で、8グループに分かれましてKJ法という手法で行いました。第1ステップは、アイデアや意見が出尽くすまで集める、第2ステップは集まったデータを同じような内容にまとめる、第3ステップはそのまとめた内容をグループごとにタイトルをつけて関連性を示すということをしています。そして最後、第4ステップで発表をするということで、まなびすとフォーラムの報告書を皆さんお持ちだと思いますので、目を通していただけたらと思います。

3ページ目は討議風景です。このような形で、1グループ10人ほどで集まって討議をしました。参加された方が多数だと思いますが、参加されていない方のために説明させていただきます。「ささえあう地域と学校」というテーマで行いました。後半の11ページになりますが、グループごとに模造紙を使って発表をしていただきました。グループには、高校生や先生方、そして一般の方がいらっしゃいます。たくさんのご意見が出まして、地域と学校で支え合いましようという形で終わりました。今まではこういった貴重な意見がワークショップで出て、なかなか市に伝わらないということで、こういうことをやっても意味がないのではないかと

という意見もありました。ですが今回は、生涯学習課が、行政の各部署の方と連絡を取っていただきまして、この意見を伝えることができました。また来年の6月に開催しますが、より良い方向でフォーラムが開催できると思います。ありがとうございました。

影山議長

はい、それでは今、フォーラムの件についてご説明がありましたが、これについて何か皆様ご指摘、ご質問等ございますか。

(質問なし)

影山議長

よろしいですか。では議事の最後になりますが、第13回久喜市生涯学習推進大会「まなびすと久喜」について、これも井上委員でよろしいですか。よろしくをお願いします。

井上副議長

第13回久喜市生涯学習推進大会が来年の2月2日の日曜日に行われるのですが、ただいま推進部が14名という、今までになくとても少ない人数で取り組み始めております。そこで先日も、市民大学校友会の方たちに当日ボランティアと実行委員に入っただけないでしょうかというお願いをしてまいりました。それと同時に、今お隣にいらっしゃる社会教育委員の折原様のところへも、推進部副委員長の山川から説明をさせていただいて、実行委員や当日ボランティアの募集という話しをさせていただきました。参加しますというお声がまだ2、3件ぐらいしかないので、この推進会議の皆様にもぜひぜひ推進部の一員として実行委員会から参加して、お手伝いをしていただけたらありがたいと思いますので、ぜひご協力のほどよろしくお願いします。

ちなみに、まなびすと久喜という言葉聞いたことのない方はいらっしゃいますか。また、参加されたことのない方はどのくらいいらっしゃるでしょうか。市民大学に入っただけの方はほとんどの方が参加していらっしゃると思いますが、今日は特に初めての方に対し

て、まなびすと久喜についてという大会概要を持ってきました。

そして、これから2月2日までに実行委員会と大会当日なども含めて全部で5回、出席していただきたいと思っておりますが、それを書いた会議予定表も持ってまいりましたので、これを皆さんに見ていただきまして、ぜひぜひ推進会議の皆様には、本当に全員が参加してご協力をいただきたく思っております。お忙しい折とは思いますが、ぜひ参加していただきますようよろしくお願いいたします。以上です。

影山議長

今、まなびすと久喜についてのご説明がありました。これに関して何か皆様からご質問はありますか。私も実は推進部に在籍していて、まなびすと久喜の実行委員長をさせていただいたことがありました。その時は、井上さんには申し訳ないけれども、もっともっといっぱい人がいましたので、楽ではなかったですが今の人数よりも多かったので非常に助かりました。それでも、結果的には人が足らなかったということがありました。そしてその時、実行委員長として、少しカチンと思ったことがあります。私の認識では、生涯学習推進部というのは、推進会議の実働部隊、事業を実施するのが推進部だと思っています。その上の団体の人たち、要は推進会議の委員がごくわずかしか参加してくれなかったのです。なぜ命令する人間が、命令という言葉は良くないですが、命令を受ける部隊の活動に参加してくれないのかとすごく疑問に感じました。我われ推進会議のメンバーは、立場的には推進部の上にいることになります。それぞれもちろん諸事情があって参加できない方はいらっしゃると思いますし、5回の集まりに出られなければ1回でもいいので、できれば当日の2月2日は参加していただけると実情もわかるのかなと思います。これは決して強制ではなく、できればということですが、私は実行委員長をやらせていただいた時に、そのようなことを感じました。

議長でありながらこのようなことを言うのは大変申し訳ないのですが、私からもぜひお願いしたいと思います。ちなみにそういう私ですが、実行委員会の3回のうち2回は出られませんが、1回だけ出させてもらって、当日と前日の合計3回は出させてもらおうかなと思っておりますが、それでも井上さんは快く、むしろ感謝の言葉をいただきましたので、もし皆さんもお時間があればぜひ参加していただければいいかなと思います。大変失礼なことを申し上げて申し

訳ありませんでした。では、これで議事を終了したいと思います、よろしいですか。

(異議なし)

影山議長

では、皆様の混乱を招くような議事進行で大変申し訳ありませんでしたが、以上で議長の任を解かせていただきます。どうもご協力ありがとうございました。

司会（三谷）

はい、影山議長ありがとうございました。

それでは、次第の3番、その他でございます。事務局から3点連絡がございますので少々お時間をいただきたいと思います。1点目、公職者名簿の個人情報登載の可否についてでございます。公職者名簿に、皆様の氏名、住所、電話番号の登録をさせていただきます。住所、電話番号の記載を希望されない方は、会議終了後に私の方までお申し出ください。

2点目、債権者登録についてでございます。会議の報酬を振り込むため、皆様の口座情報を登録させていただいております。そちらの登録がお済みでない方に、債権者登録申請書というものを配布いたしました。ご記入後、ご提出をお願いいたします。

最後、3点目です。個人番号入力シートの提出についてでございます。市が税関係の書類の手続きをする際に、皆様の個人番号を記載する必要があることから、皆様には個人番号入力シートの提出をしていただいております。債権者登録と同様、まだ登録がお済みでない方に、別紙個人番号入力シートをお渡しいたしました。こちらもご記入後、事務局まで提出をお願いいたします。以上となりますが、その他何かございますでしょうか。

(質問なし)

司会（三谷）

ないようでございますので、閉会のあいさつに移りたいと思います。長時間にわたりご協議

いただきありがとうございました。

それでは閉会にあたりまして、井上副議長、ごあいさつをお願いいたします。

井上副議長

着座にて失礼いたします。今年度は第1回目の会議から皆様の熱心なご意見がたくさんありました。今年の委員さんは、これから会議に熱心に取り組まれていくのだろうという姿勢も見えました。これからの2年間はよき会議となりますことを期待して、閉会といたします。ありがとうございました。

司会（三谷）

はい、ありがとうございます。

それではこれもちまして、令和6年度第1回久喜市生涯学習推進会議を終了とさせていただきます。皆様のご協力ありがとうございました。お気をつけてお帰りください。

会議のてん末・概要に相違ないことを証明するためにここに署名する。

令和6年10月28日

議長 影山 悦夫

(注)特に署名等を要しない審議会等については、事務局名を記入する。